

2024年10月15日



報道関係者各位

一般社団法人 BC-ROBOP 海岸工学会

【むなかた子ども大学】子ども未来科学学習教室～火星探査ローバーがやってくる！～】

【海と科学を愛する心を育むプログラム（CFB・海と日本 2024）】を開催しました！

2024年10月6日 【場所】海の道むなかた館

一般社団法人 BC-ROBOP 海岸工学会は、【むなかた子ども大学秋の課外授業～子ども未来科学学習教室～】で小・中学生と一緒に火星探査ドローンについて学び及びミニローバーを作るロボット教室をおこないました。【海と科学を愛する心を育むプログラム（CFB・海と日本 2024）】を開催いたしました。このイベントは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催するものです。



【むなかた子ども大学秋の課外授業～子ども未来科学学習教室～】状況

イベント概要

- ・開催概要：【むなかた子ども大学秋の課外授業～子ども未来科学学習教室～】
火星探査ローバー世界大会日本初の決勝進出 ARESproject チームが宗像にやってくる！
- ・日程 : 2024年10月6日(日)
- ・開催場所 : 海の道むなかた館
- ・参加人数 : 70名
- ・協力団体 宗像市地域教育連携室、ARESproject チーム、J-SPACE ロボット教室

「むなかた子ども大学秋 の課外授業」の目的と状況

「むなかた子ども大学秋 の課外授業」で小・中学生と一緒に火星探査ドローンについて学び、ミニローバーを作るロボット教室をおこないます。

ARESproject チームは6月にアメリカユタ州で開催された火星探査機の学生世界大会で、世界102チームが参加した予選を勝ち抜き、日本で初めて決勝に出場しました。

火星探査ローバーは火星の過酷な環境での探査が可能であり、海岸清掃ロボットへの技術応用も実証的におこなわれています。宇宙で利用される科学技術の応用事例を示すことで、子どもたちに科学の可能性と海と宇宙への興味・関心を相互に広げる機会となることを目指します。



<火星探査ローバーの説明>



<ミニローバーを作るロボット教室>

イベントのネット広告、全国からの反響

むなかた子ども大学 3 日間広告(1 ドル) 宣伝するとオーディエンスの 401 人、反応は Instagram が多かったです。地域は大阪府、東京都、神奈川県、兵庫県、千葉県、福岡県、静岡県、広島県、宮城県。



宗像市広報よりプレスリリースされました (9月 30 日)

https://www.bc-robop.org/wp-content/uploads/2024/10/060930_子ども大学.pdf

宗像子ども大学子ども未来科学技術学習 20241006 紹介映像です。

https://youtu.be/oHk_NC33Em0

イベント当日のロボット教室で参加した子ども・保護者からの声

(10月 6 日むなかた子ども大学)子ども未来科学学習教室アンケート

子ども大学受講者アンケート.pdf (bc-robop.org)

<https://www.bc-robop.org/wp-content/uploads/2024/09/E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E5%8F%97%E8%AC%9B%E8%80%85%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88.pdf>

- ①宗像市が子どもの教育に力を入れていることに改めて気づき、宗像市はすばらしいところだと思いました。
- ②やはり子どもたちには座学も重要であるが手を動かすのが大切だと感じた。
- ③子どもたちが学べる場をつくったことが次世代の育成に役立つと思う。
- ④質問タイムで、色々な事が知れたのが役立った
- ⑤みんなで協力し、一つの目標に向かってアイディアを出すというのはこれから学校生活の中などで体験すると思われます。目標を達成出来なかったとしても、また努力して前に進んでいくという事を子ども達にやっていって欲しいと思いました。
- ⑥宇宙に興味持ってくれた

<団体概要>

団体名称 : 一般社団法人 BC-ROBOP 海岸工学会

URL : <https://www.bc-robop.org/>

活動内容 : 一般社団法人 BC-ROBOP 海岸工学会 は「ロボットと市民が協力して海をきれいにする社会」を目指し、2017年4月、福岡県宗像市の市民団体、九州大学と九州工業大学の研究者、研究広報を専門とする事業者が協力して活動をスタートしました。
福岡県宗像プロジェクトでは、ロボットとの協働で、作業の効率化、新たな技術の時代での海岸清掃のありかたを提案する。これは水平展開可能な地域モデル作り。



CHANGE FOR THE BLUE

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、“これ以上、海にごみを出さない”という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として2018年11月から推進しているプロジェクトです。

産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。

<https://uminohi.jp/umigomi/>



さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名： 一社)BC-ROBOP 海岸工学会

担当者名：吉富 容

電話： 080-6455-3014

メールアドレス：bc-robop@kaz.bbiq.jp